

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の治療薬として、イベルメクチンが注目されています。イベルメクチンは、静岡県のごル場の土壌の細菌をもとに開発され、初めは動物用駆虫薬でした。1987年からは熱帯



の薬の値段は一般に、新薬は高く、古い薬は年々引き下げられていきます。古くからある安全で優れた薬が、採算の問題で製造中止になることや適応追加をあきらめることは、大変残念なことです。

地方の住民に無償で配布され、熱帯病撲滅への貢献により、開発者の大村智博士はノーベル生理学・医学賞を受賞されました。近年では、インフルエンザ、HIV、狂犬病など

イベルメクチンと漢方薬

ワクチン接種後も要感染予防対策

さまざまなウイルスの増殖を抑制することが報告されており、現在 COVID-19 に対する医師主導型治験も進行中です。薬の研究開発には2通りあり、実験室で作った化合物と、自然の生物から探す方法です。イベルメクチン、漢方ともに後者であり、分かっていることとありますが、年月を経ても新しい発見があることは、自然由来の物質の魅力です。イベルメクチンは長い間多くの人に使用され、安全性も確立されており、この点でも漢方と近いものを感じます。しかし日本



現在ワクチンの接種が始まっていますが、日本で承認されているのは m-RNA とウイルスベクターという新しいタイプのものになります。従来の不活化ワクチンより副反応が強く、長期的な体への影響も未知のため、不安の声も聞かれます。各個人の事情も違いますので、効果と副反応のバランスを考えて接種の判断をすればよいと思います。また接種後も感染のリスクはあるため、感染予防対策は変わらず必要となります。

(健康科学センター 診療所長 武生 英一郎)
(2021年5月1日発行第617号に、誤って「このシリーズ終わり」と掲載してしまいました。読者の皆さま、ならびに関係各位に深くお詫び申し上げます。)

COOL CHOICEにご賛同をお願いします!

地球温暖化対策のために、今できる「賢い選択」。

COOL CHOICE とは、2030 年度に温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 46%削減するという目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしようという取り組みのことです。スマートフォンやタブレット端末で、左の QR コードを読み取り、COOL CHOICE ホームページ内の登録画面で賛同をお願いします。ぜひ「COOL CHOICE」にご参加ください!! (脱温暖化センター・ひろしま・環境省)



令和3年度 地区衛生組織活動資金募集



通称 『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和3年度で62回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金 総額(円)
9,330,795円
(令和3年度年間実績)

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	988,400	74.4
海田町	990,000	42.9
熊野町	0	0
坂町	0	0
江田島市	0	0
竹原市	0	0
大崎上島町	0	0
大竹市	0	0
廿日市市	2,318,390	69.7
廿日市市大野	0	0
廿日市市佐伯	0	0
廿日市市吉和	0	0
廿日市市宮島	0	0
安芸太田町	0	0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	0	0
安芸高田市	0	0
東広島市	0	0
三原市	1,124,582	76.7
世羅町	0	0
尾道市	1,249,400	29.3
福山市	2,590,410	30.4
府中市	0	0
神石高原町	0	0
三次市	0	0
庄原市	0	0
呉市	0	0
その他	69,613	104.9
合計	9,330,795	18.4

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。 ◆貸出グッズのご案内◆
コミュニティパネル
3Rパネル
広島県のごみの現状パネル
データを更新しました。



市町別一覧表
※この表は、令和3年5月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。

ポスター・標語コンクール開催

全26公衛協が参加

今年度は環境と健康のポスター・標語コンクール事業のテーマが変わります。みんながより行動に移しやすいメッセージが集まるように、環境分野は「守ろう美しい地球」、健康分野は「がんばろう健康生活」にしました。この事業は、夏休みの宿題として募集し、毎年3万点以上の作品が集まります。集まった作品は、公衛協で1次選考して2次選考に推薦する作品を決め、当協会の2次選考で選考委員が最優秀賞、特別賞、優秀賞、奨励賞の各賞を決定します。入選作品には、トロフィーと賞状、副賞を贈呈し、最優秀賞、特別賞の受賞者は11月に開催する広島県公衆衛生大会の席上で表彰式を行います。



今年度は、全ての公衛協がご参加の予定です。新しいテーマでどんな作品が集まるか、楽しみます。(地域支援課)

ごみゼロ・クリーンウォークは、1992(平成4)年から、きれいなひろしま・まちづくりの市民会が実施している取り組みです。まちの美化意識を高め、社会的ルールを定着をねらいに市民・事業者、行政が一体になって散乱ごみ追放キャンペーンを実施しているものです。例年、市内の各地に設けられた拠点から中央公園に向けて大勢でごみ拾いをしながら行進し、取り組みのPR

ごみゼロ・クリーンキャンペーン

昨年に引き続きコロナで中止

をしてきました。昨年度は、コロナ禍に清掃する形態で行われることになりました。当会は、拠点運営を手伝う準備を進めていました。しかし、県に緊急事態宣言が発令され、感染拡大が収まらない状況が継続していることから、中止となりました。一斉清掃活動さえできない状況は残念ですが、次年度は気持ちよく美化意識の向上に向けた啓発ができることを祈念しています。(総務課)